



# サポート隊通信



平成 25 年 10 月 29 日 第 4 号

## 米原校サポート隊発足3周年 方向性定まりサポート活動次第に成果

十月一日、レイカディア大学第三十六期生の入学式が挙行され、本年度の授業が無事スタートしました。

四月目に入ったサポート隊は、発足当時の手探り状態、試行錯誤の連続状態から、ようやく抜け出すことができたようです。

昨年度は、三十六期生の

募集活動を強力にサポートし、定員を確保することに貢献しました。

また、パソコン教室や、講師の選定、講義へのサポートなどを通じて、在校生の要望に配慮するとともに、講座の充実に寄与することができました。

そして、新たな試みとし

て、交流講座をサポート隊主催で開催、在校生、卒業生のみならず地域の皆さんも巻き込んだ交流と、大学のPRを行いました。

この成果の上に立ち、今後とも大学の充実に向けた一層の活動が望まれます。  
(詳細は本紙掲載)

### 平成25年度サポート活動①

#### 三十六期生募集サポート 全校で定員を確保

##### 米原校でも昨年を超える実績

年初より最重要テーマとして掲げていた募集活動には、準備段階から取り組み、サポート隊全員が人脈をフルに活用し、準備された速報チラシを、公民館や自治会などに配布してPR。さらに知人友人への一本釣り勧誘など、強力にサポート活動を展開した結果、学校当局の積極的な展開とも相まって、全校で定員数を確保することができました。

残念ながら米原校では定員数確保には至りませんでした。昨年の実績を超える応募があり、応募者集の減少傾向に歯止めをかけることができました。

##### サポート隊各位の積極的な取り組みの成果です。

##### 女性の進出顕著

男女別にみると、女性の増加が顕著で米原校では三十六期入学者の五十三%を女性が占める結果となりました。



前年比105%  
3名増加

女性が  
53%

#### [36期入学者数]

	定員	応募者	%	女性
園芸	30	28	93.3	14
北近江	20	21	105.0	8
健康	20	15	75.0	12
米原計	70	64	91.4	34
草津	145	155	106.9	49
合計	215	219	101.9	83

#### 新年度スタートに当たり

今年をサポート隊の存在意義を示す年  
積極的な活動と一層のご協力を!

サポート隊隊長 藤居 忠治



初代サポート隊の皆さんが試行錯誤しながらその活動の方向性を示して頂いたとおり発足当時の原点に立ち返り、在校生の皆さんの要望を最優先し、学校の存続と充実に向けた活動を目指して三部会が一体となった活動を進めることができました。中でも米原校第一回の大学祭の開催に当たっては、総務・学生支援部会が中心となり、早期から文化委員会に出席し学生側と協議を重ね、大学祭のPR、作品展示、地域活動発表などでサポート、在校生と卒業生、地域の皆さんとの交流を図り大学祭を盛り上げることができました。

また、広報部会では、新しくパソコン教室を開催し、在校生の皆さんの要望に添えてきました。

講座支援部会では在校生と卒業生、地域の皆さんを交えた交流講座、キノコ観察会を開催し、交流と親睦ならびにレイ大の存在をPRできました。

このように、全体を振り返ると、学生・サポート隊・同窓会との繋がりや糸口が掴めた一年でした。

一方で課題も明らかになってきました。

活動が一部の隊員に限られ、より多くの人の参加を促す努力が不足していること、学生との交流については主催が学校がサポート隊かで温度差が大きく準備段階から協同行事として取り組む必要があること、さらに、サポート隊の組織についても近年の実態に合った活動しやすい組織に見直さなければならぬことなどです。

そして、学校と同窓会の繋がりをより強固なものとするためにも、サポート活動を展開する必要があります。

新年度はこれらの課題を克服すべく全員が知恵を出し合い活動の充実を図ります。皆さんのご協力よろしくお願ひします。

### 大学祭へ参加

#### ■開かれた「大学祭」開催

#### サポート隊も全面協力

米原校初の「大学祭」が七月二十三日から三日間開催。

体験発表、作品展示、体験コーナーなど充実した内容で話題をよび、中日、産経、滋賀夕刊の新聞各紙に取り上げられました。

その結果、三日間で昨年の三倍を上回る88名の地域の皆さんに見ていただき大盛況のうちに終了しました。

サポート隊も、総務・学生支援部会が中心となり、企画段階から参画。地域体験発表、作品・地域活動展示などに参加

### 交流講座「きのこ観察会」

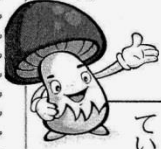
#### ■初めての試み

#### 「キノコ観察会」好評

講座支援部会が中心となって、九月二十六日、希望が丘公園で「交流講座キノコ観察会」を開催しました。

当初は、大学PRの意味も含めて、大学主催の公開講座としての実施を提案したのですが、すでにカリキュラムも確定しておるなどの事情から、在校生と卒業生、地域の皆さんとの交流を深めることを狙いとした交流講座として、サポート隊主催で開催しました。

在校生、卒業生を含む参加者は20名。高木部会長の説明を受けた後、グループに分か



れ、公園内を散策しながらキノコウォッチング。そして、全員集まってかえでの森での昼食を取りました。気持ちのいい秋の一日、和気あいあいと交流を深めることができました。



高木部会長の説明できのこ観察会スタート

しました。また、学生の皆さんの要望に応え体験コーナーへのサポートなどを行いました。

#### <サポート隊参加内容>

- 地域体験発表
  - ・大石幸雄さん (32期園芸)
  - ・「私のボランティア活動『桜守』」
- 展示発表
  - ・作品 24人 32点
  - ・卒業生の地域活動 8件
- 体験コーナーサポート
  - ・トールペイント、体力測定

### サポート活動・その他

そのほかにも各部会とも、毎月会合を重ね、きめ細かいサポート活動を行いました。

#### ■サポート隊参加勧誘

- ・草津校と共同、PRビデオ制作
- ・サポート隊登録説明会

#### ■講座支援関係

- ・「賤ヶ岳を歩く」に参加支援
- ・甲良支援学校ゆず園剪定作業支援 (二回・のべ24人参加)
- ・キノコ栽培講座支援

#### ■打合せ会合

- ・総会
- ・調整会議 10回
- ・各部会のべ21回

#### ■その他

- ・学校ホームページ運営助言



### 平成25年度サポート活動④

### 在校生の要望「パソコン教室」

#### ■要望に応えて

#### 「パソコン教室」開催

広報・情報部会が中心となって「パソコン教室」を四月に三日間開催しました。

参加者は、初日88名、二日目88名、三日目88名と日を追うごとに増加し、のべ264名に及び、学生の皆さんの要望の強さを実感しました。

パワーポイントを中心とした実践的な内容も好評で、是非講座の継続という声を多くの参加者より聞きました。



**編集後記**  
今年には台風の当たり年で大型のものが多いそうです。伊豆大島では山津波で大変な被害が出ています。サポート隊の皆さん方ご機嫌はいかがでしょう。さて、米原校サポート隊が発足してから三年が経過しました。今回の通信は、結成四年目に当たり、二十五年度に取り組んだ活動を中心にまとめて見ました。二十五年度は大学祭や交流講座パソコン教室など、サポート隊らしい活動が始まりました。結成当初の何をしたらよいのか方向性すら闇の中で手探り状態であった皆さんの、レイ大を何とかしたいという気持ちと努力が、やっと形を取り始めました。皆さんの努力に敬意を表すとともに、今後も一層のご協力とご努力をお願いします。

滋賀県レイカディア大学米原校

### サポート隊通信

平成25年10月29日第4号

発行：滋賀県レイカディア大学米原校サポート隊 (広報・情報部会)

□米原市下多良 2-137(県立文化産業交流会館)

滋賀県レイカディア大学米原校内

□電話：0749-52-5110